

## 資料

# 文部科学大臣のスポーツに関わる所信表明の変遷 (1)

## Historical transition of the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology's statement of belief regarding sport (1)

田中 宏和

桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部

(2021年3月12日 受理)

### I. はじめに

今日、わが国の政治、経済、社会状況はめまぐるしくかつ大きく変化している。特に、少子高齢化や情報化の進展、地域社会の空洞化や人間関係の希薄化、国際化に伴う国際協力・交流の活発化などは、わが国を取り巻く社会環境や価値観に急激な変化をもたらした<sup>1)</sup>。

これらの変化に対応すべく政治、行財政、経済構造など社会のさまざまな分野において従来のシステムの見直し、大胆な改革としておしすすめられてきた<sup>2)</sup>。

特に政治行政制度においては、21世紀に相応しい行政体制を築くことを目標とした中央庁等改革基本法制定による省庁組織の再編がなされ、20年が経過しようとしている<sup>3)</sup>。

このような現代社会の変化の中、20世紀以降国際的に急速に普及・発展し、とりわけオリンピック東京大会を契機に創造的な文化活動の重要な柱として国民の中に広がっていったスポーツ<sup>4)</sup>は、2度目のオリンピック東京大会の開催決定の影響も受け、その存在感をさらに強めようとしている。

その現れの一つとして、わが国の立法機関

である国会の常任委員会におけるスポーツに関する議論が多くなされてきている。国会においてスポーツが議論の中核として取り上げられることは、国民の関心度の高さの現れであるといえよう。このような常任委員会での議論に際して実施されるのが、文部科学大臣による所信を表明することである。所信表明では、現在の問題を中心にその国会における内閣の方針や政策及び政権の正統性を示している。

文部科学大臣はその時代の文部科学行政の最高責任者であり、スポーツにおける文部科学大臣の発言には、その時代のスポーツに対する内閣の考え方が示されているといえる。

そこで本稿では、国会常任委員会における文部科学大臣の所信表明の特徴を明らかにすることを目的とする。

### II. 先行論文の状況

これまでわが国においては、ソジエが指摘する様に、大臣の発言に対する学術的関心は高いとはいえない状況であり、それらを対象とした研究は限られてきた<sup>5)</sup>。

スポーツに関する研究をみても、内海和雄の「スポーツ行政の現状と課題」<sup>6)</sup>や中村祐司の「政策過程研究の理論課題」<sup>7)</sup>にみるようなスポーツ政策の望ましい在り方や政策内容の検討ないし問題点の指摘及び考察など、政策の評価について論じているものが大半を占め、わが国における大臣の発言を対象にしている研究は皆無の状況である。

### Ⅲ. 研究の方法

本稿では、国会会議録検索システム (<https://kokkai.ndl.go.jp/>) で公開されている国会本会議、常任委員会等の会議録のうち国会法の一部を改正する法律の施行や衆議院規則の改正により常任委員会の所管事項の変更がなされた、平成 12 年 1 月開会の第 151 回国会から令和 2 年 3 月開会の第 203 回国会までの衆議院文部科学委員会における文部科学大臣の所信表明を対象とした。対象となる文部科学大臣の一覧は表の通りである。

表 歴代文部科学大臣

氏名	所属政党	在任期間	
町村 信孝	自由民主党	平成 13 年 1 月 6 日	平成 13 年 4 月 26 日
遠山 敦子	民間	平成 13 年 4 月 26 日	平成 15 年 9 月 22 日
河村 建夫	自由民主党	平成 15 年 9 月 22 日	平成 16 年 9 月 27 日
中山 成彬	自由民主党	平成 16 年 9 月 27 日	平成 17 年 10 月 31 日
小坂 憲次	自由民主党	平成 17 年 10 月 31 日	平成 18 年 9 月 26 日
伊吹 文明	自由民主党	平成 18 年 9 月 26 日	平成 19 年 9 月 26 日
渡海紀三朗	自由民主党	平成 19 年 9 月 26 日	平成 20 年 8 月 2 日
鈴木 恒夫	自由民主党	平成 20 年 8 月 2 日	平成 20 年 9 月 24 日
塩谷 立	自由民主党	平成 20 年 9 月 24 日	平成 21 年 9 月 16 日
川端 達夫	民主党	平成 21 年 9 月 16 日	平成 22 年 9 月 17 日
高木 義明	民主党	平成 22 年 9 月 17 日	平成 23 年 9 月 2 日
中川 正春	民主党	平成 23 年 9 月 2 日	平成 24 年 1 月 13 日
平野 博文	民主党	平成 24 年 1 月 13 日	平成 24 年 10 月 1 日
田中眞紀子	民主党	平成 24 年 10 月 1 日	平成 24 年 12 月 26 日
下村 博文	自由民主党	平成 24 年 12 月 26 日	平成 27 年 10 月 7 日
馳 浩	自由民主党	平成 27 年 10 月 7 日	平成 28 年 8 月 3 日
松野 博一	自由民主党	平成 28 年 8 月 3 日	平成 29 年 8 月 3 日
林 芳正	自由民主党	平成 29 年 8 月 3 日	平成 30 年 10 月 2 日
柴山 昌彦	自由民主党	平成 30 年 10 月 2 日	令和元年 9 月 11 日
萩生田 光一	自由民主党	令和元年 9 月 11 日	

※所属政党は在任当時

出典：文部科学省ホームページ ([https://www.mext.go.jp/b\\_menu/soshiki/rekiday/daijin.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/soshiki/rekiday/daijin.htm)) より作成

## Ⅳ. 所信表明の状況

### 1. 所信表明について

所信表明とは、国会の特別会・臨時会において開会式の後に行われる演説のことである。また常会会期の途中でも行われることもある。また開会式と同日に行われるとは限らず、後日に行われることも多いものである。

平成 13 年 1 月に中央省庁等改革が施行されたことにより、国会常任委員会も再編され、これまでの衆議院文教委員会から衆議院文部科学委員会が、文部科学省の所管に属する事項を取り扱うこととなった。本研究で対象となる第 151 回国会から第 203 回国会までに文部科学大臣による所管演説が衆議院文部科学委員会において 39 回実施された。

### 2. 所信表明の内容

39 回の文部科学大臣による所管表明の内容をみると、平成 14 年 2 月 26 日に開催された第 154 回国会衆議院文部科学委員会での遠山国務大臣による「明るく豊かで活力に満ちた社会を形成するため、国民のだれもが身近にスポーツに親しむとともに、競技者がスポーツに打ち込むことのできる環境を整備するべく、スポーツ振興基本計画に基づき、生涯スポーツ社会の実現や我が国の国際競技力の向上、学校の体育・スポーツ活動の充実」に努めます。

また、五月三十一日から、日韓共催による二〇〇二年ワールドカップサッカー大会が開催されます。これは、アジアで初めての大会であり、世界じゅうから大きな注目と期待を集めているものであり、ぜひとも成功させなければなりません。政府を挙げて、その準備に万全を期してまいります」<sup>8)</sup>の所信表明に代表されるような・生涯スポーツの充実・国際競技力の向上・学校体育の充実・国際大会の開催の 4 点に集約される。

これは、平成 12 年に策定されたスポーツ振興基本計画の主要課題を述べるだけにとど

まっており、その具体については触れられていない。

このような状況は、平成 21 年の衆院選後に起きた政権交代を経ても変化することはない。

つまり文部科学委員会において長らく、内閣の方針や政策及び政権の正統性の具体が示されない状況が続いていたこととなる。

所信表明の状況に変化がみられたのは、平成 25 年 3 月 13 日に開催された第 183 回国会衆議院文部科学委員会における、下村文部科学大臣による「スポーツ振興のための財源の確保に資するスポーツ振興くじの改善充実のための法律改正を実現していただきました。この趣旨を踏まえて、東京オリンピック・パラリンピックの成功に向けて、国立霞ヶ丘競技場の全面改築を初めとしたインフラ整備や若い世代の競技者の育成強化などに全力で取り組んでまいります」<sup>9)</sup>といった所信表明からである。

これ以降、スポーツ基本計画におけるスポーツ推進の基本方針を述べるだけでなくその具体についてまで述べられている。

これは平成 23 年のスポーツ基本法の制定とそれに続く平成 24 年スポーツ基本計画の策定や平成 25 年にオリンピック・パラリンピックの東京開催決定によりさらなるスポーツに対する国民のニーズへの対応が必要になった影響であるといえよう。

さらにこれまでの所信表明では、スポーツと文化がそれぞれ別々に述べられていたが、東京開催決定後は、平成 28 年 3 月 4 日での第 190 回国会衆議院文部科学委員会における馳大臣の「二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック競技大会は、日本社会を元気にする契機となるものであり、大会開催の効果を全国に波及させるとともに、オリンピック・パラリンピックムーブメントを推進します。大会を日本全体のスポーツと文化の祭典と位置づけ、本年十月にスポーツ・文化・ワールド・フォーラムを開催するほか、我が国の文化の魅力を国内外に積極的に発信する文

化プログラムを実施するなど、史上最大規模で、さまざまな取り組みを全国津々浦々で展開していきます」<sup>10)</sup>にみるように別々に分けられることなく述べられるようになった。

これはオリンピックにおける「文化プログラム」の影響を受けてのことである。これもまた特徴の一つであるといえよう。

以上の特徴の影響を受け、所信表明におけるスポーツに関する事項の分量も大幅に増加している。これは先述したスポーツの国民の関心度の高さを受けてのものであるといえ、これまで以上に国がスポーツに対してする国会での議論の重要性を認識した現れ的一端でもあるといえる。

しかしながら、平成 29 年の第 2 期スポーツ基本計画策定後は、以前同様に第 2 期スポーツ基本計画の実行についての所信表明に留まり、具体的内容には触れられておらず、所信表明における分量も減少傾向にある(資料)。

文部科学委員会において、再び内閣の方針や政策及び政権の正統性の具体が示されない状況となっている。

## V. まとめ

本稿は、国会常任委員会における文部科学大臣の所信表明の特徴を明らかにすることを目的に検討を加えてきた。それらを整理すると以下ようになる。

1) 文部科学委員会での所信表明の内容をみると、長らくスポーツ振興基本計画の主要課題を述べるだけにとどまっており、その具体については触れられていない状況が続いていた。これは平成 21 年の政権交代後も変化することはない。

つまり文部科学委員会において長らく、内閣の方針や政策及び政権の正統性の具体が示されない状況が続いていた。

2) 平成 25 年 3 月 13 日に開催された第 183 回国会衆議院文部科学委員会における、下

村文部科学大臣による所信表明以降、スポーツ基本計画におけるスポーツ推進の基本方針を述べるだけでなくその具体についてまで述べられるようになった。

これはスポーツ基本法の制定、スポーツ基本計画の策定及びオリンピック・パラリンピックの東京開催決定によりさらなるスポーツに対する国民のニーズへの対応が必要になった影響であるといえよう。

- 3) オリンピック・パラリンピックの東京開催決定以前の所信表明では、スポーツと文化がそれぞれ別々に述べられていたが、開催決定以降は、オリンピックにおける「文化プログラム」の影響を受けてスポーツと文化についてまとめて述べられるようになった。
- 4) 第2期スポーツ基本計画策定後は、以前同様に第2期スポーツ基本計画の実行についての所信表明に留まり、具体的内容には触れられておらず、所信表明における分量も減少傾向にあり、再び内閣の方針や政策及び政権の正統性の具体が示されない状況となっている。

国会常任委員会における文部科学大臣の所信表明は、以上のような特徴を有していた。

前述したとおり文部科学大臣の発言には、その時代のスポーツに対する考え方が示されているといえる。また代表制デモクラシーの支柱である説明責任の問題とも深く結びついているため、さらなる具体が述べられることが求められる。

## Ⅵ. 今後の課題

今後の課題として、参議院文教科学委員会における文部科学大臣の所信表明の特徴や所信表明に対しての質疑応答から、わが国のスポーツに関わる国会議論の特徴を明らかにすることがあげられる。

## 【注記及び引用文献】

- 1) 片山孝重、木村和彦、浪越一喜編著：『現代スポーツ経営論』、アイオーエム、1997.7、p.121
- 2) 文部省編：『我が国の文教施策（平成11年度）』、大蔵省印刷局、1999.12、p.9
- 3) 森田朗編著：『改訂版 現代の行政』、放送大学教育振興会、2000.3、p.9
- 4) 関春南著：『戦後日本のスポーツ政策』、大修館書店、1997.4、p.1
- 5) ソジエ内田恵美：「戦後日本首相による所信表明演説の研究—Discourse Analysisを用いた実証研究—」、年報政治学 69 巻、日本政治学会、2018.6、pp.177-199
- 6) 内海和雄：「スポーツ政策の現状と課題」、都市問題研究第 46 巻第 10 号、都市問題研究会、1994.10
- 7) 中村祐司：「政策過程研究の理論課題」、宇都宮大学国際学部研究論集 3、宇都宮大学国際学部、1997.3
- 8) 第154回国会衆議院文部科学委員会議録第2号
- 9) 第183回国会衆議院文部科学委員会議録第1号
- 10) 第190回国会衆議院文部科学委員会議録第1号

## 【参考文献】

- ・ 衆議院ホームページ (<http://www.shugi-in.go.jp/internet/index.nsf/html/index.htm>)
- ・ リサーチ・ナビ国立国会図書館 (<https://rnavi.ndl.go.jp/rnavi/>)
- ・ 澤田大祐：「スポーツ政策の現状と課題—「スポーツ基本法」の成立をめぐる—」、調査と情報第 722 号、国立国会図書館、2011.8
- ・ 高橋伸次、時本識資：「国民体育大会における我が国の体育・スポーツの変遷について—文部大臣の挨拶にみるスポーツ振興の動向」、産業研究第 32 巻 1 号、高崎経済大学、1996.9、pp.52-85
- ・ 安高志穂：「国会における花粉症対策に関わる議論の動向—国会会議録を分析して—」、林業経済研究第 65 巻 1 号、林業経済学会、2019.7



## 資料 衆議院文部科学委員会における文部科学大臣のスポーツに関する所信表明一覧

### 第151回国会 文部科学委員会 第2号 平成13年2月23日

○町村国務大臣

明るく健全で活力に満ちた社会の形成のためには、スポーツの振興が重要であります。このため、昨年九月に策定したスポーツ振興基本計画に沿って、国民のだれもが日常的にスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の早期実現や、本年十月に開所予定の国立スポーツ科学センターの活用などによる競技者の育成、強化など、競技力の向上に取り組んでまいります。また、二〇〇二年ワールドカップサッカー大会の開催、二〇〇八年夏季オリンピックの大阪招致の成功に向け努力してまいります。／さらに、新たな財源として期待されるスポーツ振興くじが健全な制度として社会に定着するよう、十九歳未満の者に対する販売禁止措置の徹底を図りつつ、本年三月からの全国販売に向けて着実に準備を進めてまいります。

### 第151回国会 文部科学委員会 第10号 平成13年5月18日

○遠山国務大臣

スポーツについては、生涯スポーツの振興、競技力の向上、二〇〇二年ワールドカップサッカー大会の開催やオリンピックの大阪招致の成功を目指してまいります。

### 第154回国会 文部科学委員会 第2号 平成14年2月26日

○遠山国務大臣

明るく豊かで活力に満ちた社会を形成するため、国民のだれもが身近にスポーツに親しむとともに、競技者がスポーツに打ち込むことのできる環境を整備するべく、スポーツ振興基本計画に基づき、生涯スポーツ社会の実現や我が国の国際競技力の向上、学校の体育・スポーツ活動の充実に努めます。／また、五月三十一日から、日韓共催による二〇〇二年ワールドカップサッカー大会が開催されます。これは、アジアで初めての大会であり、世界じゅうから大きな注目と期待を集めているものであり、ぜひとも成功させなければなりません。政府を挙げて、その準備に万全を期してまいります。

### 第155回国会 文部科学委員会 第1号 平成14年10月30日

○遠山国務大臣

私に課せられた使命は、小泉内閣の最重点戦略である人間力戦略と技術力戦略を推進し、新しい時代を切り開くたくましい日本人を育成すること、国力の源となる科学技術・学術を振興することにあると考えます。／このため、さきに人間力戦略ビジョンを提唱したところでありまして、教育改革をより一層強力に進め、確かな学力や豊かな心の育成、大学改革などに取り組むとともに、文化やスポーツの振興に全力を尽くしてまいります。

### 第156回国会 文部科学委員会 第1号 平成15年2月25日

○遠山国務大臣

昨年のワールドカップサッカー大会の成功に象徴されるように、明るく豊かで活力に満ちた社会を形成する上で、スポーツの振興は欠かすことができません。このため、スポーツ振興基本計画に基づき、国民のだれもが身近にスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現や、世界で活躍するトップレベルの競技者の育成、学校での体育・スポーツ活動の充実に努めます。あわせて、体力の低下や子供の健康に関する現代的課題に対応し、子供の体力向上や食に関する指導など健康教育に積極的に取り組み、健やかな体をはぐくんでまいります。

### 第159回国会 文部科学委員会 第1号 平成16年2月18日

○河村国務大臣

本年八月には、オリンピック発祥の地ギリシャのアテネにおいてオリンピック競技大会が開催されます。明るく豊かで活力に満ちた社会を形成する上で、スポーツの振興は欠かすことができません。このため、スポーツ振興基本計画に基づき、総合型地域スポーツクラブの育成など国民のだれもが身近にスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現や、ナショナルトレーニングセンターの整備等による世界で活躍するトップレベルの競技者の育成を推進します。

### 第161回国会 文部科学委員会 第1号 平成16年10月22日

○中山国務大臣

第三に、生涯学習、スポーツ、文化の振興について申し上げます。／人々が生涯にわたり自己実現を図ることができるよう、生涯学習の環境整備や大学、専修学校における社会人のキャリアアップのた

めの教育を推進します。また、若者自立・挑戦プランの推進、男女共同参画社会の形成、環境教育や人権教育の充実等に努めます。／また、さきのアテネ・オリンピックにおける日本選手団の活躍は、国民に大きな感動を与えてくれました。スポーツの振興は、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成に不可欠であり、スポーツ振興基本計画に基づき、国民のだれもが身近にスポーツに親しめる生涯スポーツ社会の実現や、トップレベルの競技者の育成などに取り組みます。また、国民スポーツ担当大臣と協力し、スポーツの国民への普及及び振興のための取り組みを政府全体で総合的に推進してまいります。

### 第162回国会 文部科学委員会 第1号 平成17年2月16日

○中山国務大臣

昨年のアテネ・オリンピック競技大会における日本選手団の活躍は、日本じゅうに大きな感動を与えてくれました。スポーツの振興は、明るく豊かで活力に満ちた社会を形成する上で不可欠であり、スポーツ振興基本計画に基づき、ナショナルトレーニングセンターの中核拠点の整備など世界で活躍するトップレベルの競技者の育成等に取り組むとともに、国民のだれもが身近にスポーツに親しめる生涯スポーツ社会の実現を目指して地域のスポーツ環境の整備に努めます。／また、子供の目標やあこがれの地となるような全国的なスポーツ大会の拠点づくりを推進するとともに、子供の体力向上を図るなど、スポーツの振興を進めてまいります。

### 第163回国会 文部科学委員会 第1号 平成17年10月12日

○中山国務大臣

スポーツの振興については、国民のだれもが身近にスポーツに親しめる生涯スポーツ社会の実現や、国民に大きな感動を与えてくれるトップレベルの競技者の育成などに取り組みます。

### 第164回国会 文部科学委員会 第1号 平成18年2月17日

○小坂国務大臣

トリノ冬季オリンピック競技大会が開催しましたが、スポーツの振興は、活力に満ちた社会を形成する上で不可欠であります。世界的な大会における日本選手の活躍は、国のアイデンティティーを確立するとともに、国民全体の活力の源泉となるものであり、夏季、冬季を通じ、競技力の強化、向上のためトレーニング拠点施設の充実が急務であり、このため、ナショナルトレーニングセンター中核拠点施設の整備を推進するなど、世界のひのき舞台で活躍できるトップレベルの競技者の育成等に取り組むとともに、総合型地域スポーツクラブの育成などにより、また、スポーツ振興くじも活用し、国民のだれもが身近にスポーツに親しめる地域のスポーツ環境の整備に努めます。／子供の目標やあこがれの地となるような全国的なスポーツ大会の拠点づくりを推進するとともに、親子で一緒に体を動かす機会の提供などにより、子供の体力の向上に努めます。／スポーツの振興をさらに効果的に推進するため、平成十三年度から十年計画として実施しているスポーツ振興基本計画については、本年は見直しを行い、生涯スポーツの普及振興、国際競技力の向上、そして子供の体力向上を図るという視点から、豊かなスポーツ環境づくり推進のための施策を充実させてまいります。

### 第165回国会 文部科学委員会 第2号 平成18年10月18日

○伊吹国務大臣

スポーツの振興につきましては、国民のだれもが身近にスポーツに親しめる社会の実現や、国民に大きな感動を与えるトップレベルの競技者の育成などに取り組んでまいります。また、二〇一六年オリンピック競技大会の東京招致が実現できるよう、東京都や関係団体と協力してまいりたいと存じます。

### 第166回国会 文部科学委員会 第1号 平成19年2月16日

○伊吹国務大臣

すべての国民が心身ともに健康に生活するためにはスポーツの振興が不可欠であります。このため、総合型地域スポーツクラブの育成など、だれもがいつでもいつまでも、身近にスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指してまいります。また、来年開催される北京オリンピックなどの国際的な舞台で日本代表選手が活躍できるよう、ナショナルトレーニングセンターの整備充実や、トップレベル競技者の育成強化など、国際競技力の向上に取り組みます。さらに、二〇一六年オリンピック競技大会の東京招致が実現されるよう、東京都や関係団体と協力してまいりたいと存じます。

**第168回国会 文部科学委員会 第1号 平成19年10月19日**  
○渡海国務大臣

すべての国民が心身ともに健康に生活するため、総合型地域スポーツクラブの育成などを通じ、だれもがいつでも身近にスポーツに親しめる生涯スポーツ社会の実現を目指します。また、来年開催される北京オリンピックに向けて、ナショナルトレーニングセンターの整備、充実や、トップレベル競技者の育成強化など、国際競技力の向上に努めるとともに、国際的なドーピング防止活動にも積極的に取り組みます。さらに、二〇一六年オリンピック競技大会の東京招致実現に向けて、東京都や関係団体と協力しつつ、必要な支援を行ってまいります。

**第169回国会 文部科学委員会 第1号 平成20年2月22日**  
○渡海国務大臣

本年八月の北京オリンピック競技大会において日本選手団が活躍できるよう、本年一月に供用を開始したナショナルトレーニングセンターの活用などにより、世界的なひき舞台で活躍できるトップレベル競技者の育成強化を支援するとともに、二〇一六年オリンピック競技大会の日本開催の実現に向けて、東京都の招致活動を積極的に支援してまいります。また、総合型地域スポーツクラブの育成支援などに努め、生涯スポーツ社会の実現を図ります。さらに、学校体育や運動部活動を通じた子供の体力の向上に努めます。

**第170回国会 文部科学委員会 第1号 平成20年11月14日**  
○塩谷国務大臣

国民に大きな夢と感動を与えた本年八月の北京オリンピックは記憶に新しいところです。世界のひき舞台で活躍できるトップレベル競技者の育成強化について、ナショナルトレーニングセンターの活用などにより二〇一〇年のバンクーバー冬季オリンピックに備えて引き続き取り組むとともに、二〇一六年オリンピックの日本開催の実現に向けて、東京都の招致活動を積極的に支援してまいります。また、総合型地域スポーツクラブの育成支援などを推進し、生涯スポーツ社会の実現を図ります。

**第171回国会 文部科学委員会 第1号 平成21年3月11日**  
○塩谷国務大臣

スポーツと文化芸術は、国民に夢や感動をもたらします。社会や経済に活力を与えるとともに、国際社会において我が国の存在を高めるために大きな役割を果たしています。スポーツ立国、文化芸術立国を目指して、国家戦略としてスポーツ、文化芸術を振興していくことが必要です。／二〇一〇年のバンクーバー冬季オリンピックに備えるとともに、二〇一六年オリンピックの日本開催に向けて招致活動を支援します。ナショナルトレーニングセンター等を活用し、競技力の向上に努めます。また、総合型地域スポーツクラブの育成等により生涯スポーツの振興に努めるとともに、学校体育や運動部活動の充実を通じた子供の体力向上の取り組みを進めます。

**第173回国会 文部科学委員会 第1号 平成21年11月11日**  
○川端国務大臣

スポーツや文化芸術は、国民に夢や感動をもたらすのみならず、社会や経済に活力を与え、また、国際的な理解や共感、信頼関係を醸成します。／スポーツについては、だれもが身近な地域でスポーツに取り組むことができるようにするとともに、学校体育や運動部活動を通じ、子供の体力向上を図ります。また、平和の祭典であるオリンピックを初めとした国際競技大会の招致、開催を支援するとともに、二〇一〇年のバンクーバー冬季オリンピックなどに向け国際競技力の向上に努めます。

**第174回国会 文部科学委員会 第1号 平成22年2月19日**  
○川端国務大臣

現在、バンクーバー冬季オリンピック大会が開催されています。大会での日本人選手の活躍は、国民に大きな感動とあすに向かう勇気をもたらしてくれています。また、国を代表する選手たちのすがすがしい姿とひたむきに競技に打ち込む熱意は、子供たちの心身の健全な発達に大きな影響を与えるものです。／スポーツは、すべての国民にとって人格形成、体力向上や健康長寿の礎であるとともに、地域活性化や観光などの点からも高い波及効果を有しています。学校体育の充実や地域に根差したスポーツクラブの育成など、ライフステージに応じたスポーツ振興を図ります。また、二〇一二年のロンドン五輪の一つの目標に、世界で競い合うトップレベル競技者の育成強化に力を尽くすとともに、ワールドカップサッカー大会など

の招致を支援します。／さらに、スポーツ基本法案の検討も含め、現場の声に耳を傾けながら行政課題を点検し、スポーツ立国戦略を策定してまいります。

**第176回国会 文部科学委員会 第1号 平成22年10月20日**  
○高木国務大臣

スポーツは、人格形成や健康長寿の礎であるとともに、地域活性化の重要な資源となります。本年八月に策定したスポーツ立国戦略を踏まえ、地域スポーツ、学校体育の充実の一体的な推進と、世界で競い合うトップアスリートの育成強化などの施策を総合的に推進するとともに、スポーツ基本法の制定に向け努力をいたします。さらに、二〇二二年のワールドカップサッカー大会の招致を積極的に支援してまいります。

**第177回国会 文部科学委員会 第1号 平成23年2月23日**  
○高木国務大臣

先日のサッカー日本代表のアジアカップ優勝は、多くの国民に元氣を与えてくれました。選手のひたむきな努力、信頼に裏づけられたチームワーク、そして、みずからの力を信じ最後まであきらめない粘り強さ。厳しい試合を乗り越えて成長していく姿を見て、スポーツの意義や重要性を改めて認識をいたしました。／スポーツは、体力の向上、健康長寿の礎であるとともに、豊かな人格形成になくしてはならないものです。すべての人々がスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、スポーツを支え、そしてスポーツを育てる活動に参画する機会が確保される社会の実現を目指し、昨年、新たにスポーツ立国戦略を策定しました。／本年はスポーツ立国戦略元年であり、トップスポーツと地域スポーツが互いに支え合う好循環の創出に重点を置きながら、地域スポーツ、学校体育の充実と、二〇一二年ロンドン・オリンピック等に向けたトップアスリートの育成強化を推進します。／あわせて、スポーツを振興していく上で重要な役割を担うスポーツ団体のガバナンスを強化するなど、公正なスポーツ界を実現するとともに、財団法人日本相撲協会の諸課題にも適切に対応してまいります。スポーツ基本法については、その制定に向けて努力をいたします。

**第179回国会 文部科学委員会 第1号 平成23年10月21日**  
○中川国務大臣

なでしこジャパンのワールドカップサッカー優勝は、震災後の我が国に勇気と希望を与えてくれました。スポーツには人々を明るく元気にする力があります。元氣な日本の復活にとってスポーツは極めて重要な存在であります。また、スポーツは、人格形成や健康長寿の礎であるとともに、地域活性化の重要な資源となります。本年八月にはスポーツ基本法が施行されたところですが、今後は、スポーツ基本計画の策定に取り組み、スポーツ立国の実現を目指した施策を進めてまいります。また、二〇二〇年の夏季オリンピック・パラリンピックの招致に向け、外務省等とも連携し、政府全体で積極的に支援をしてまいります。

**第180回国会 文部科学委員会 第1号 平成24年3月2日**  
○平野（博）国務大臣

文化とスポーツは人々に喜びと感動、安らぎと活力をもたらし、人間が人間らしく生きることを実感させてくれるものであります。今後とも積極的に推進してまいります。その際、障害の有無にかかわらず、国民が文化、スポーツに親しむ機会を享受できるよう、必要な環境整備に努めてまいります。

(中略)

昨年のなでしこジャパンのワールドカップサッカー優勝は、震災後の我が国に勇気と希望を与えてくれました。今般、アンダー20女子ワールドカップサッカーを我が国にて開催することとなりましたが、本大会の開催は、国際親善に寄与することはもちろん、国民に夢と元氣を与えてくれるものと考えます。／スポーツは、人格形成や健康長寿の礎であるとともに、地域活性化の重要な資源ともなり得るものであり、まさに元氣な日本の再生にとって不可欠なものであります。昨年八月に施行されたスポーツ基本法に基づき、スポーツ基本計画の策定に取り組んでいるところでございますが、今後ともスポーツ立国の実現を目指した施策を積極的に進めてまいります。また、二〇二〇年の夏のオリンピック・パラリンピックの招致に向け、外務省等と連携し、政府全体で積極的に支援をしてまいります。

**第181回国会 文部科学委員会 第1号 平成24年11月2日**  
○田中国務大臣



文化とスポーツは人々に喜びと感動、安らぎと活力をもたらし、人間が人間らしく生きることを実感させてくれるものであり、今後とも積極的に推進してまいります。／我が国にある文化芸術や多くの文化財は極めて大切な資源です。今こそ文化芸術を国家戦略として位置づけ振興していくことが必要であり、文化芸術が有する人々を引きつける魅力、それらの創造や継承を担う人材の育成を進めてまいります。／ことしのロンドン・オリンピック・パラリンピックでの日本選手の活躍は、震災後の我が国に勇気と希望を与えてくれました。昨年八月に施行されたスポーツ基本法に基づき、本年三月にはスポーツ基本計画を策定したところであり、今後ともスポーツ立国の実現を目指した施策を積極的に進めてまいります。また、二〇二〇年の夏季オリンピック・パラリンピックの招致に向け、外務省等とも連携し、政府全体で積極的に支援してまいります。

#### 第182回国会 文部科学委員会 第2号 平成25年1月24日

○下村国務大臣

国家戦略として、スポーツ、文化芸術の振興に全力を尽くしてまいりたいと存じます。／今後とも、松野委員長を始め初め理事の皆様方、また委員の皆様方の御指導、御鞭撻を賜りますようによろしくお願いを申し上げます。／どうぞよろしくお願いいたします。

#### 第183回国会 文部科学委員会 第1号 平成25年3月13日

○下村国務大臣

文化とスポーツが持つ、人々を引きつけ、感動させる力は、人々の心を豊かにし、困難な問題に連帯して取り組む活力ある社会の構築に不可欠なものであると認識しており、私は、国家戦略としてこれらを振興してまいります。／我が国には、世界に誇るべき有形無形の文化財や芸術文化が多くあります。文化芸術立国の具体化のため、伝統文化の継承、普及や、文化財の保存、活用をしていくとともに、これらの施策や世界文化遺産等への取り組みを通じ、日本文化の魅力国内外に積極的に発信し、地域の活性化やクール・ジャパンの推進にも寄与してまいります。／さらに、昨年成立した吉野の日に関する法律の趣旨も踏まえ、我が国の文化と日本語の大切さを再認識し、歴史と文化をとうとぶ心の育成を図るとともに、新しい時代に対応した著作権施策の展開に努めてまいります。／文化芸術の振興は、人間形成や活力ある社会構築に不可欠な投資であるとの信念のもと、これらの施策を推進してまいります。／昨年、ロンドン・オリンピック・パラリンピック競技大会での日本選手の活躍が国民に大いに元気を与えてくれたことは、記憶に新しいところです。私は、スポーツ基本法及びそれに基づき策定されたスポーツ基本計画の通り、スポーツ立国の実現を目指します。／本年九月に開催都市が決定する二〇二〇年のオリンピック・パラリンピック競技大会の東京招致については、内閣としては閣僚会議を設置し、政府を挙げて招致に取り組んでおり、国会においては二度の決議を行っていただけたところですが、文部科学省としても、東京都、スポーツ界、経済界等と一体となって全力で取り組んでまいります。／その他の国際競技大会の招致、開催についても、政府全体で積極的に支援し、国立霞ヶ丘競技場の全面改築を進めてまいります。／また、先日女子柔道選手たちの問題提起をきっかけに、スポーツ指導における暴力の根絶を図ることを呼びかけるため、大臣メッセージを発出しました。／このほか、国民がスポーツに親しむ機会を充実するための地域スポーツの推進、中学校の武道必修化を初めとした武道の振興、スポーツ振興のための財源の確保に資するスポーツ振興くじの改善充実に取り組みます。／日本にはチャンスがある、可能性がある。私は、日本を教育によってそういう国にしたいと考えています。

#### 第185回国会 文部科学委員会 第1号 平成25年10月30日

○下村国務大臣

これらの取り組みについて国民の理解が広がる中で、新たに二〇二〇年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催が決まるなど、我が国の未来を切り開く明るい兆しも見え始めており、これを確かな日本の力としていく必要があります。／私は、この重要な時期に、文部科学大臣及び教育再生を担当する大臣として、日本の将来を担う人を育てる教育の再生に全力で取り組むとともに、国の社会、経済の発展の源となる科学技術イノベーションの推進や、スポーツ、文化芸術の振興など、文部科学行政の充実に全力を尽くしてまいります。／また、本年九月の二〇二〇年東京大会の開催決定を受けて、新たにオリンピック・パラリンピック担当大臣を拝命い

たしました。招致活動に際しての委員各位の御支援、御協力に感謝申し上げます。大会の成功に向けて全力で臨むことはもちろん、日本社会を元気にする取り組みを社会総がかりで進めてまいります。（中略）

文化とスポーツが持つ、人々を引きつけ感動させる力は、人々の心を豊かにし、困難な問題に連帯して取り組む活力ある社会の構築に不可欠なものです。私は、国家戦略としてこれらを振興してまいります。／日本の文化力の向上のため、日本独自の魅力ある文化を再発見し、あわせて、世界全体で共有すべき日本文化の発信を強力に推進し、社会の活気を持続させることが必要です。／文化芸術立国の実現のため、我が国が世界に誇る有形無形の文化財を保存、活用していくとともに、実演芸術やメディア芸術等の幅広い芸術を振興し、それらのための人材育成を強化します。そして、我が国の文化力を計画的に強化することで、二〇二〇年には、日本が世界の文化交流のハブとなることを目指します。／さらに、我が国の文化と日本語の大切さを再認識し、歴史と文化をとうとぶ心の育成を図ってまいります。／加えて、電子書籍に対応した出版権等について検討を進めるなど、新しい時代に対応した著作権施策の展開に努めてまいります。／さきの通常国会においては、スポーツ振興のための財源の確保に資するスポーツ振興くじの改善充実のための法律改正を実現していただきます。この趣旨を踏まえて、東京オリンピック・パラリンピックの成功に向けて、国立霞ヶ丘競技場の全面改築を初めとしたインフラ整備や若い世代の競技者の育成強化などに全力で取り組んでまいります。／また、二〇一九年のラグビーワールドカップの日本開催など、他の国際競技大会の招致、開催についても、政府全体で積極的に支援するとともに、国民がスポーツに親しむ機会を充実するための地域スポーツの推進、中学校の武道必修化を初めとした武道の振興に取り組めます。／さらに、スポーツ立国の実現に向けて総合的、一体的にスポーツを推進する観点から、引き続き、スポーツ庁の設置について、その枠組みや意義、方向性等の検討を精力的に進めてまいります。／さきの通常国会において私は、「日本にはチャンスがある、可能性がある。」と申し上げました。招致に成功したオリンピック・パラリンピックは、そのチャンスを、あるいは可能性を現実のものとするまたとない好機です。／二〇二〇年という節目を単なる五輪開催の年とするのではなく、ターゲットイヤーと位置づけ、明治維新や戦後に続く第三の転換期とすべく、日本のポテンシャルを発掘、研磨、発信し、新しい日本を創造する年にしなければなりません。／このために、各界の英知を結集し、若者や女性を初めとする国民総参加型の大きなうねりを生み出すことが我々に課せられた使命であると考えます。／我が国が活力を取り戻すためにあらゆる取り組みを進めることにより、近い将来に先進諸国が共有することとなるグローバル化や超高齢化といった課題に対する成功モデルを先んじてつくり上げ、課題解決先進国として世界に発信することが、我が国のプレゼンスを一層高め、日本を再生する起爆剤となるのです。／文部科学省はその先駆けとなるべく、スポーツ・フォー・トゥモローによる国際貢献の推進、若者等によるボランティア活動の推進やグローバル人材の育成、日本人のアイデンティティの醸成、成長を支える科学技術イノベーションの推進、世界に誇る日本文化の発信など、教育、科学技術・学術、スポーツ、文化の各分野で意欲的な取り組みを進め、社会の活力を維持向上させるという新しい挑戦に取り組んでまいります。

#### 第186回国会 文部科学委員会 第2号 平成26年2月19日

○下村国務大臣

スイスのローザンヌで開催された国際バレーコンクールでは、二山治雄さんと前田紗江さんという二人の高校生が一位、二位に輝きました。また、現在開催中のソチ・オリンピックでは、フィギュアスケート男子で十九歳の羽生結弦さんがアジア初のコスプレメダルを、スキージャンプ男子ラージヒルで四十一歳の葛西紀明さんが銀メダルを獲得しました。日本人が文化やスポーツ分野で活躍する姿は、私たちに興奮と感動を与えてくれました。／このように、文化とスポーツが持つ、人々を引きつけ感動させる力は、人々の心を豊かにし、困難な問題に連帯して取り組む活力ある社会の構築に不可欠なものです。私は、国家戦略としてこれらを振興してまいります。／文化芸術立国の実現のため、我が国が世界に誇る有形無形の文化財の保存、活用や、実演芸術やメディア芸術等の幅広い芸術の振興を図り、それらのための人材育成を強化するとともに、日本文化の魅力を国内外に積極的に発信します。そして、文化芸術立国中期プランを策定して我が国の文化力を計画的に強化し、二〇二〇年には、日本が世界の文化交流のハブとなることを目指します。／さらに、我が国の文化と日本語の大切さを再認識し、歴史と文化をとうとぶ心の育成を図ってまいります。／加えて、電子書籍に対応した出版権等の

整備のため、今国会において所要の法律改正を行うための準備を進めるなど、新しい時代に対応した著作権施策の展開に努めてまいります。／スポーツの振興に関しては、二〇二〇年を見据え、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会を中心に、東京都やＪＯＣと連携しながら大会成功に向けて取り組むとともに、国立霞ヶ丘競技場の全面改築などのインフラ整備や、二〇二〇年に活躍が期待される競技者の育成強化などに取り組んでまいります。／また、二〇一九年のラグビーワールドカップの日本開催など、他の国際競技大会の招致、開催への積極的な支援や、学校体育の充実を図るとともに、国民が生涯にわたってスポーツに親しむ機会を充実するため、地域スポーツの推進に取り組みます。／さらに、スポーツ立国の実現に向けて総合的、一体的にスポーツを推進する観点から、スポーツ庁の設置について、その枠組みや意義、方向性等の検討を精力的に進めてまいります。／少子高齢化が急速に進展する中において、今後とも我が国が引き続き成長、発展を持続するためには、一人一人の能力や可能性を最大限に引き出し、付加価値や生産性を高めていくことが不可欠です。このため、特に若者や女性に光を当て、教育の再生や科学技術イノベーションの推進のための取り組みを強力に推し進めることが必要です。／さきの臨時国会でも申し上げたように、招致に成功した二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピックをまたない好機と位置づけ、日本の可能性や潜在力を発掘、研磨、発信することにより、新しい日本の創造を実現しなければなりません。二〇二〇年東京大会における成果は、前回の一九六四年東京大会がそうであったように、人々の心の中にレガシーとして永続的に生き続け、人々の心の持ち方を変えて社会を変え、さらには、日本全体がさらなる発展に向かう原動力となることが期待されます。／このためには、東京だけのイベントとすることなく、日本全国に波及効果を生み出すことが重要です。大会開催による効果は全国にも波及するよう、大会組織委員会等とも連携して、国内の強化拠点や海外選手団のキャンプ地などのスポーツ環境が広く全国で展開されるように取り組みます。大会後も見据えて、障害者スポーツの振興や、アスリートを学校や地域に派遣してオリンピック・パラリンピック教育を進めるなど、スポーツの裾野を広げていきます。／大会に際して、選手だけでなく観客等も地方都市を訪れるように、関係省庁等と連携して、日本の魅力や旅行、観光情報の発信にも取り組みます。その際、選手や観客等を市民や学生、子供たちが歓迎することができるよう、持続的に国際交流に取り組む体制を構築いたします。／あわせて、大会が円滑に運営できるように、政府としても、交通インフラやバリアフリー環境の整備、セキュリティの確保、オリンピックマーク等の知的財産保護、医療サービスの充実、地震、津波等に対する防災対策、ボランティアの育成確保、環境保全などに万全を期します。／オリンピック・パラリンピック大会は、単なるスポーツの大会にとどまらず、スポーツを通じてメッセージを世界の人々に届け、それにより、心の持ち方を変え、社会を変えていく大きな力となるのです。二〇二〇年までの限られた六年半の間に、各界の英知を結集し、若者や女性を初めとする国民全体が参加する大きなうねりを生み出すことが我々に課せられた使命であると考えます。／文部科学省内においても、我が国が目指すべき姿を描きながら、二〇二〇年、さらにはその先の将来を見据えた取り組みを検討するため、現在、省内の若手や中堅の職員が中心となって、夢ビジョンの検討を進めています。今後は、オール・ジャパンでのビジョンを作成していきたいと考えています。

#### 第187回国会 文部科学委員会 第1号 平成26年10月10日

○下村国務大臣

文化とスポーツが持つ、人々を引きつけ感動させる力は、人々の心を豊かにし、困難な問題に連帯して取り組む活力ある社会の構築に不可欠なものです。私は、国家戦略としてこれらを振興します。／文化財を核とした地方の創生を進めます。地域に点在する有形無形の文化財をパッケージとして日本遺産に認定する仕組みを創設するなど、従来の保存優先の支援を見直し、文化財を経営的に活用する取り組みを強化します。実演芸術やメディア芸術等の幅広い芸術の振興を図り、日本文化の魅力を取り戻す弾みに発信します。我が国の文化と日本語の大切さを再認識し、歴史と文化をとうとぶ心の育成を図ります。／二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック競技大会は、我が国が活力を取り戻す弾みとなるものです。東京大会に向けた取り組みが、大会後も持続し、その後の社会の発展の原動力となるレガシーとして次世代に引き継がれていくものになればなりません。／大会を東京だけのイベントとすることなく、ホストシティ・タウン構想を推進し、大会開催の効果を全国に波及させていきます。特に、東日本大震災の被災地については、見事に

復興をなし遂げた姿を世界に向けて発信していかなければなりません。被災地を走る聖火リレーを行うなど、復興五輪として、大会が復興の後押しとなるよう取り組みます。大会を日本全体のスポーツと文化の祭典と位置づけ、二〇二〇年に向け、史上最大規模で、魅力あるプログラムを全国津々浦々で展開していきます。国内の強化拠点や海外選手団のキャンプ地などが広く全国で展開されるよう取り組みます。大会が円滑に運営できるよう、政府全体として、交通インフラやバリアフリー環境の整備、地震、津波等に対する防災対策、ボランティアの育成確保、環境保全などに万全を期します。／東京大会の前年には我が国でラグビーワールドカップが開催されます。両大会の一体的な準備に配慮しつつ、国立霞ヶ丘競技場の改築などのインフラ整備や競技者の育成強化などに取り組みます。今国会において、両大会の円滑な準備と運営に資するよう、所要の法整備を行うための準備を進めます。／大会後も見据え、学校体育の充実、地域スポーツや障害者スポーツの推進を通じ、国民が生涯にわたってスポーツに親しむ機会の充実を図ります。スポーツを通じた健康増進や地域活性化など、スポーツの効果をさらに高めていくための体制を構築するため、スポーツ庁の設置に向けて取り組みます。／一人一人の国民が、二〇二〇年、さらにその先を見据えた夢を語り、新たなチャンス、可能性に挑戦しよう、そう思えるような大きなムーブメントをつくっていきたい。我が国は世界で一番一人一人の能力、可能性を伸ばせる国だ、日本は世界で最もチャンスにあふれる国だと誰もが誇りに思える国をつくっていききたい。

#### 第189回国会 文部科学委員会 第2号 平成27年3月25日

○下村国務大臣

東京オリンピック・パラリンピック大会の開催決定が国民に感動や希望を与えたように、人々の心を豊かにし、活力ある社会を構築していくためには、スポーツや文化芸術が持つ、人々を引きつけ、感動させる力が欠かせません。／私は常々、文部科学省は未来を切り開く未来省であると考えています。私は、その先頭に立って、日本再生のための教育再生、先端研究開発による革新的なイノベーションの創出、東京オリンピック・パラリンピック大会のレガシーの創出の三つを日本の未来戦略として掲げ、これら第四の矢で日本の成長を牽引してまいります。

(中略)

一九六四年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会は発展途上型であり、これを機に新幹線などのインフラ整備が飛躍的に伸び、高度成長の波に乗ることができました。今回、政府は、二〇二〇年の東京大会を絶好の機会と捉え、世界に誇る魅力あふれる観光立国の実現を目指し、二〇二〇年には訪日外国人旅行者を一昨年の二倍の二千万人にするを目標に掲げています。／こうした取り組みを牽引する中核的な役割を担うのは、スポーツや文化、芸術です。我が国には世界の人々を引きつけるすぐれた文化やさまざまな魅力があります。このまたないチャンスに、ホストシティ・タウン構想等を通じて、東京のみならず、全国津々浦々に大会の開催効果を波及させ、大会後も地域が力強く発展していくための幅広いレガシーを生み出すことができるよう全力で取り組みます。／大会を日本全体のスポーツと文化の祭典と位置づけ、二〇二〇年に向け、史上最大規模で、魅力あるプログラムを全国で展開していきます。文化財の活用による地域活性化や観光振興を進めるため、地域に点在する有形無形の文化財をパッケージとして日本遺産に認定する仕組みを創設します。実演芸術やメディア芸術等の幅広い芸術の振興を図り、日本文化の魅力を国内外に積極的に発信します。こうした取り組みを戦略的に進めるため、第四次の文化芸術の振興に関する基本的な方針を策定いたします。／二〇一六年リオデジャネイロ大会直後の来年十月には、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントを国際的に高めるためのキックオフイベントとして、スポーツ・文化・ワールド・フォーラムを京都と東京で開催し、二〇一九年ラグビーワールドカップ、二〇二〇年東京大会に向け、スポーツや文化を通じた国際貢献、協力、スポーツや文化が生み出す有形無形のレガシー等について、観光とも連動させつつ、世界へ発信していきます。また、二〇二〇年東京大会においては、東日本大震災の被災地が見事に復興をなし遂げた姿を世界に向けて発信できるよう、被災地を走る聖火リレーを行うなど、復興の後押しとなる復興五輪としてまいります。／東京大会の前年には、アジア地域で初めてのラグビーワールドカップが我が国で開催されます。両大会の一体的な準備に配慮しつつ、国立霞ヶ丘競技場の改築などのインフラ整備や競技者の育成強化などに取り組みます。先般、両大会の円滑な準備と運営に資するよう所要の法整備を行うための法案を提出いたしましたので、速やかな御審議をお願い申し上げます。政府全体として、セキュリティ、復興、地域活性化、外国人旅行者の受け入れ、



バリアフリー、環境などに関する取り組みにも万全を期します。／オリンピック・パラリンピック教育の推進やスポーツ・フォー・トゥモローによる国際貢献を通じて、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントを国内外に推進します。大会後も見据え、学校体育の充実、地域スポーツや障害者スポーツの推進を通じ、国民が生涯にわたってスポーツに親しむ機会の充実を図ります。スポーツを通じた健康増進や地域活性化など、スポーツの役割を一層高めていくための体制を構築するため、先般、スポーツ庁の設置に係る法案を提出いたしました。十月にスポーツ庁を設置できるよう、速やかな御審議をお願い申し上げます。／意志あるところ必ず道あり。／一人一人の子供、若者に、自分の可能性を信じ、夢に向かって一生懸命努力をし、挑戦してもらいたい。その子供たち、若者たちの挑戦を温かく応援する社会をつくろうではありませんか。／大人になってからでも学び続けることで、何度でも新たな挑戦ができる社会にしたい。国民一人一人がみずからの夢や希望に向かって、持てる潜在力を最大限に発揮していくこと、それこそが我が国の将来を明るく活力あるものに変えていく原動力です。／いかに困難な道のりであろうとも、私は、日本と子供たちの未来を見据えながら、さらに大胆に、さらにスピード感を持って、文部科学行政全般にわたり、戦後以来の大改革をなし遂げる決意です。／オールジャパンで日本の再生を実現することができるよう、全力で取り組んでまいります。引き続き関係各位の御指導、御鞭撻のほど、よろしく申し上げます。

#### 第190回国会 文部科学委員会 第1号 平成28年3月4日

○馳国務大臣

五、スポーツ、文化。／スポーツには希望があり、フェアプレー精神があり、高い教育効果があります。また、文化芸術は、世界に誇る我が国のソフトパワーの根幹です。今後とも、その振興を図ってまいります。／本年はリオデジャネイロ・オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。各種競技会において日本選手、チームが活躍できるよう、国際競技力の向上が不可欠です。昨年創設したスポーツ庁では、スポーツに関連する施策を総合的に推進するため、スポーツを通じた健康増進、障害者スポーツの推進、学校体育の充実、地域や経済の活性化、国際貢献等に取り組めます。／また、日本遺産の活用など、文化資源を活用した地域の活性化、観光振興を図ります。幅広い芸術の振興を図り、日本文化の魅力を国内外に積極的に発信します。／さらに、環太平洋パートナーシップ協定の実施に向けた著作権法の整備を初め、著作物等の保護と利用の促進に取り組みます。／二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック競技大会は、日本社会を元気にする契機となるものであり、大会開催の効果を全国に波及させるとともに、オリンピック・パラリンピックムーブメントを推進します。大会を日本全体のスポーツと文化の祭典と位置づけ、本年十月にスポーツ・文化・ワールド・フォーラムを開催するほか、我が国の文化の魅力を国内外に積極的に発信する文化プログラムを実施するなど、史上最大規模で、さまざまな取り組みを全国津々浦々で展開していきます。／東京大会の前年には我が国でラグビーワールドカップが開催されます。両大会の成功に向けて、選手の育成強化、ドーピング防止活動の推進などに取り組めます。新国立競技場の整備を着実に進めるとともに、その財源を確保するため、今国会において所要の法整備を行うための準備を進めます。

#### 第192回国会 文部科学委員会 第1号 平成28年10月14日

○松野国務大臣

スポーツには、体を動かして楽しむだけでなく、人を夢中にさせ、感動させる魅力があります。また、文化は、我が国のアイデンティティを形成する源であり、世界に誇る重要な資源です。／さきのリオデジャネイロ・オリンピック・パラリンピック競技大会では、多くの日本人選手が活躍しました。二〇二〇年東京大会や二〇一九年ラグビーワールドカップに向け、国際競技力向上を図るとともに、ドーピング対策を加速させます。さらに、新国立競技場を着実に整備します。／スポーツ・文化・ワールド・フォーラムを皮切りに、文化プログラムを全国展開するとともに、大会のレガシーとして、二〇二〇年に全国の特別支援学校で、スポーツ、教育、文化の全国的な祭典を開催します。／また、スポーツの成長産業化、障害者スポーツの振興、学校体育の充実、スポーツを通じた健康増進、地域活性化、国際貢献等に取り組めます。

#### 第193回国会 文部科学委員会 第1号 平成29年3月1日

○松野国務大臣

一億総スポーツ社会の実現を目指した第二期スポーツ基本計画を

策定するとともに、文化庁の本格移転に先駆けて機能強化を図り、費用負担のあり方についても決断していかなければなりません。／一億総活躍社会をさらに推し進める上で、特に、障害のある子供が、学齢期に充実した特別支援教育を受けるのみならず、就学前や卒業後も含めたその一生を通じて、みずからの可能性を追求できる環境を整え、地域の一員として豊かな人生を送ることができるようになることが重要です。このため、特別支援教育の生涯学習化を進めます。具体的には、障害のある方の生涯を通じた学びを支援する観点から、文部科学省の実施するさまざまな施策を改めて見直すとともに、福祉、保健、医療、労働等の関係部局と連携した進学、就職を含む切れ目ない支援体制の整備やインクルーシブ教育システム構築に向けた特別支援教育、障害者のためのスポーツ、文化の振興等に総合的に取り組みます。

(中略)

スポーツには、体を動かして楽しむだけでなく、人を夢中にさせ、感動させる魅力があります。また、文化は、我が国のアイデンティティを形成する源であり、世界に誇る重要な資源です。／本年四月から開始する第二期スポーツ基本計画に基づき、スポーツの価値を生かした取り組みを進めてまいります。／昨年のリオデジャネイロ・オリンピック・パラリンピック競技大会では、多くの日本人選手が活躍しました。二〇二〇年東京大会や二〇一九年ラグビーワールドカップ等に向け、さらなる国際競技力向上を図るとともに、ドーピング対策を加速させます。さらに、新国立競技場を着実に整備します。／文化芸術資源を掘り起こし、その魅力を国内外に発信する文化プログラムの全国展開を通じ、文化による国づくりをオールジャパンで推進します。さらに、東京大会のレガシーとして、共生社会を実現するために、二〇二〇年に全国の特別支援学校で、スポーツ、教育、文化の全国的な祭典を開催します。／また、スポーツの成長産業化を通じたGDP拡大への貢献、障害者スポーツの振興、学校体育の充実、スポーツを通じた健康増進、地域活性化、国際協力、貢献等に取り組めます。

#### 第195回国会 文部科学委員会 第2号 平成29年11月29日

○林国務大臣

第二期スポーツ基本計画を着実に実行し、全ての人々がスポーツをする、見る、支える機会を確保し、一億総スポーツ社会の実現を目指します。

(中略)

スポーツには、体を動かし楽しむだけでなく、人を夢中にさせ、感動させる力があります。また、文化は、我が国のアイデンティティを形成する源であり、世界に誇る重要な資源です。／来年には平昌冬季オリンピック・パラリンピック、その先には二〇一九年ラグビーワールドカップ、二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。国際競技力向上やドーピング対策、新国立競技場の着実な整備など大会に向けた取り組みはもとより、スポーツの機運が高まる中、次世代に誇れるレガシーを創出する視点で、スポーツを通じた健康増進やスポーツの成長産業化、地域活性化、障害者スポーツの振興、学校体育の充実、国際協力、貢献等に取り組めます。／文化芸術は、無限の可能性を秘めています。二〇二〇年東京大会の成功に向け、文化プログラムを全国で展開し、日本遺産等のさまざまな文化資源を活用しながら、伝統文化から現代芸術まで幅広い文化による国づくりをオールジャパンで推進します。また、文化経済戦略や文化芸術推進基本計画の策定を進めるとともに、デジタルネットワーク化の進展に対応した著作権制度の整備や、これからの時代にふさわしい文化財保護制度の構築などに取り組めます。

#### 第196回国会 文部科学委員会 第1号 平成30年3月23日

○林国務大臣

第二期スポーツ基本計画を着実に実行し、全ての人々がスポーツをする、見る、支える機会を確保し、一億総スポーツ社会の実現を目指します。

(中略)

スポーツには、体を動かし楽しむだけでなく、人を夢中にさせ感動させる力があります。また、文化は、我が国のアイデンティティを形成する源であり、世界に誇る重要な資源です。／平昌冬季オリンピック・パラリンピックでは、日本人選手が大いに活躍し、特にオリンピックでは、冬季大会として過去最高の獲得メダル数となりました。我が国で開催される二〇一九年ラグビーワールドカップ、二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピックを見据え、国際競技力向上やドーピング対策、新国立競技場の着実な整備など大会に向けた取組を強力に進めることはもとより、スポーツの機運が高まる中、次世代に誇れるレガシーを創出する視点で、スポーツを通じた

健康増進やスポーツの成長産業化、地域活性化、障害者スポーツの振興、学校体育の充実、国際協力、貢献等に取り組みます。また、スポーツの価値を損なう事案が相次いでいますが、関係団体と連携しながら教育、啓発等を推進し、クリーンでフェアなスポーツの実現に努めてまいります。／文化芸術は、無限の可能性を秘めています。二〇二〇年東京大会の成功に向け、文化プログラムを全国で展開し、日本遺産等のさまざまな文化資源を活用しながら、伝統文化から現代芸術まで幅広い文化による国づくりをオールジャパンで推進します。また、文化財を町づくりに生かしつつ、地域社会総がかりでその継承に取り組むことができるよう、地域における文化財の計画的な保存、活用の促進等を図るため、今国会において所要の法案を提出いたしましたので、速やかな御審議をお願い申し上げます。さらに、文化経済戦略や文化芸術推進基本計画を着実に実行します。

#### 第197回国会 文部科学委員会 第1号 平成30年11月9日

○柴山国務大臣

第二期スポーツ基本計画を着実に実行し、全ての人々がスポーツをする、見る、支える機会を確保し、スポーツ立国の実現を目指します。(中略)

スポーツには、体を動かし楽しむだけでなく、人を夢中にさせ感動させる力があります。また、文化は、我が国のアイデンティティを形成する源であり、世界に誇る重要な資源です。／我が国で開催される二〇一九年ラグビーワールドカップ、二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピックを見据え、国際競技力向上やドーピング対策、新国立競技場の着実な整備など大会に向けた取組を強力に進めることはもとより、次世代に誇れるレガシーを創出する視点で、スポーツを通じた健康増進、国際交流・協力や地域活性化、大学スポーツの振興、スポーツの成長産業化、障害者スポーツの振興、学校体育の充実等に取り組みます。また、スポーツ活動が公正かつ適切に実施されるよう、関係団体と連携しながら、スポーツインテグリティの確保に努めてまいります。／文化芸術は、無限の可能性を秘めています。二〇二〇年東京大会の成功に向け、日本博などの文化プログラムを全国で展開し、日本遺産等のさまざまな文化資源を活用しながら、伝統文化から現代芸術まで幅広い文化による国づくりをオールジャパンで推進します。

#### 第198回国会 文部科学委員会 第1号 平成31年3月8日

○柴山国務大臣

本年は、我が国でラグビーワールドカップが開催され、来年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。大会の成功に向けた取組を進めてまいります。さらに、日本博を始めた文化プログラムを全国で展開し、日本遺産等のさまざまな文化資源を活用しながら、伝統文化から現代芸術まで幅広い文化による国づくりをオール・ジャパンで推進します。(中略)

スポーツには、体を動かし楽しむだけでなく、人を夢中にさせ感動させる力があります。また、文化は、我が国のアイデンティティを形成する源であり、世界に誇る重要な資源です。／第二期スポーツ基本計画を着実に実行し、全ての人々がスポーツをする、見る、支える機会を確保し、スポーツ立国の実現を目指します。国際競技力向上やドーピング対策、新国立競技場の着実な整備など、東京オリンピック・パラリンピック等に向けた取組を強力に進めることはもとより、次世代に誇れるレガシーを創出する視点で、スポーツを通じた健康増進、国際交流・協力や地域活性化、大学スポーツの振興、スポーツの成長産業化、障害者スポーツの振興、学校体育の充実等に取り組みます。／また、スポーツ活動が公正かつ適切に実施されるよう、昨年十二月、スポーツ・インテグリティの確保に向けたアクションプランを策定しました。関係団体と連携し、ガバナンス確保に取り組む体制を構築するための円卓会議を設置したところであり、今後、スポーツ団体が遵守すべき原則、規範を定めたスポーツ団体ガバナンスコードを制定します。

#### 第200回国会 文部科学委員会 第1号 令和元年10月23日

○萩生田国務大臣

スポーツには、体を動かし楽しむだけではなく、人を夢中にさせ感動させる力があります。また、文化は、我が国のアイデンティティを形成する源であり、世界に誇る重要な資源です。／第二期スポーツ基本計画を着実に実行し、全ての人々がスポーツをする、見る、支える機会を確保し、スポーツ立国の実現を目指します。国

際競技力向上やドーピング対策、新国立競技場の着実な整備など、東京オリンピック・パラリンピック等に向けた取組を強力に進めることはもとより、次世代に誇れるレガシーを創出する視点で、アスリートのセカンドキャリア形成支援、スポーツを通じた健康増進、国際交流・協力や地域活性化、大学スポーツの振興、スポーツの成長産業化、障害者スポーツの振興、学校体育の充実等に取り組みます。／また、スポーツ活動が公正かつ適切に実施されるよう、スポーツ団体に対し、先般新たに策定したガバナンスコードの遵守を促しつつ、スポーツインテグリティの確保に努めてまいります。

#### 第201回国会 文部科学委員会 第1号 令和2年3月4日

○萩生田国務大臣

アジアで初の開催となったラグビーワールドカップ日本大会は、我が国のみならず、世界じゅうを熱狂の渦に包み、スポーツの持つ力を改めて実感する大会となりました。この盛り上がりを一過性のものとするのではないよう、全国の子供たちがラグビーに親しむことができる環境整備を着実に進めてまいります。／そして、ことしはいよいよ東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。日本代表選手の活躍は、国民に夢と希望、感動を与えるものであり、大会の成功に不可欠なものです。二〇二〇年東京大会に向けて、質の高い選手強化活動を実施します。また、準備に万全を期し、大会を成功させることはもちろんのこと、そのレガシーを次世代にしっかりと継承し、さらなるスポーツの振興に取り組んでまいります。／世界じゅうから注目が集まるこの機に、日本博を始めた文化プログラムを全国で展開するとともに、日本遺産等のさまざまな文化資源の活用や文化観光拠点の支援等を通じて、伝統文化から現代芸術まで幅広い文化芸術による国づくりをオール・ジャパンで推進し、日本文化の魅力を世界に積極的に発信します。／また、文化についての理解を深める機会の拡大及びこれによる国内外からの観光旅客の来訪促進のため、今国会において所要の法案を提出いたしましたので、速やかな御審議をお願い申し上げます。(中略)

スポーツには、体を動かし楽しむだけでなく、人を夢中にさせ感動させる力があります。東京オリンピック・パラリンピック競技大会はたくさんの感動を生むことでしょう。／第二期スポーツ基本計画を着実に実行し、全ての人々がスポーツをする、見る、支える機会を確保し、スポーツ立国の実現を目指します。国際競技力向上やドーピング対策など、東京オリンピック・パラリンピック等に向けた取組を強力に進めることはもとより、次世代に誇れるレガシーを創出する視点で、アスリートのセカンドキャリア形成支援、スポーツを通じた健康増進、国際交流・協力や地域活性化、大学スポーツの振興、スポーツの成長産業化、障害者スポーツの振興、学校体育の充実等に取り組みます。／また、スポーツ活動が公正かつ適切に実施されるよう、スポーツ団体に対し、先般新たに策定したガバナンスコードの遵守を促しつつ、スポーツインテグリティの確保に努めてまいります。

#### 第203回国会 文部科学委員会 第1号 令和2年11月11日

○萩生田国務大臣

スポーツには、体を動かし楽しむだけでなく、人々を夢中にさせ感動させる力があります。／来年に延期された東京オリンピック・パラリンピック競技大会を、人類がウイルスに打ちかつたあかしとして安全、安心に開催するため、文部科学省としても全力で取り組んでまいります。／国際競技大会における日本代表選手の活躍は、国民に夢と希望、感動を与えるものです。東京大会はもとより、その先も見据えて、トップアスリートが安心して強化活動に専念できるよう、感染症対策の徹底とともに、競技力強化に係る支援の取組を進めることに加え、東京大会のレガシーを次世代にしっかりと継承し、さらなるスポーツの振興に取り組んでまいります。／安全、安心な環境のもとにスポーツ活動を再開させ、第二期スポーツ基本計画を着実に実行し、全ての人々がスポーツをする、見る、支える機会を確保することを通じ、スポーツ立国の実現を目指します。さらに、アスリートのセカンドキャリア形成支援、スポーツを通じた健康増進、国際交流・協力や地域活性化、大学スポーツの振興、スポーツの成長産業化、障害者スポーツの振興、学校体育の充実等にも力を尽くしてまいります。／また、スポーツ活動が公正かつ適切に実施されるよう、スポーツ団体に対し、ガバナンスコードの遵守を促すことを通じ、スポーツインテグリティの確保に努めてまいります。